

セミナー中受付質問

| | 質問内容 | 回答 |
|---|--|---|
| 1 | 父親の在宅介護を始めたばかりです。担当のケアマネジャーとどう接すればいいかわかりません。コミュニケーションの取り方を教えてください。 | <p>セミナーでもお伝えしましたが、介護生活のパートナーとなるケアマネジャーとは積極的にコミュニケーションを図り、信頼関係を築きたいですね。ケアマネジャーとコミュニケーションを図るためのポイントですが、まず月1回の面談の際はなるべくご質問者も同席しましょう。そして、</p> <p>①日ごろのお父様のご様子やサービス利用による変化などを伝えると共に遠慮せず、自分の意見や要望、疑問に思うことなどをしっかり伝えましょう。</p> <p>②連絡方法（電話・メール・LINEなど）と連絡が取れやすい時間帯や曜日を確認する</p> <p>③こちらから要望するばかりではなく、ケアマネジャーからのアドバイスにも耳を傾けてください。</p> <p>ケアマネジャーは多忙な日々を送っているのですぐに返信が返ってこない場合もあります。相手の立場に立って考え、理解を示すことも大切です。これらのポイントを意識して、ケアマネジャーとのコミュニケーションを取ってみてください。</p> |
| 2 | ケアマネジャーに「レスパイトケア」をすすめられました。どのようなものなのでしょう。 | <p>レスパイトケアとは、介護者の休息や息抜きという意味合いの言葉です。日ごろ、介護を担っている方が一時的に介護から解放され、リフレッシュや休息をとる「介護者のため」のケアのことです。介護保険サービスのデイサービスやショートステイなどを利用して、休養したり、ご自分の自由な時間を確保しましょう。</p> <p>また、緊急性の高い措置として、レスパイト入院というものがあります。介護者が介護疲れなどで介護の継続が困難と医師が判断した場合に入院できることがあります。レスパイトケアの一つとしてためらわずに、担当医や医療機関の相談室にご相談ください。</p> |
| 3 | 同居する認知症の母（要介護2）を介護中です。介護保険サービスを利用していますが、ストレスが多く、強い口調で怒ってしまい、このまま在宅介護が続けられるか不安です。 | <p>認知症のお母様の介護、お疲れ様です。要介護2ということですが、介護保険サービスの限度額までご利用されていますか？また、先ほどの質問でもありましたが、「レスパイト」のためのサービス利用を検討されてはいかがでしょう。費用面での調整が必要ですが、介護保険以外のサービスを組み合わせるのも方法です。また、セミナーでもお伝えしましたが、「施設介護」についても担当のケアマネジャーやご家族と相談されることをお勧めいたします。</p> |
| 4 | 父が入浴を嫌がるため、介助に時間がかかってしまい負担です。よい方法はありませんか？ | <p>実は在宅介護中にお風呂を拒否する方は少なくありません。入浴介助は気を使いますし、負担が大きいためにお風呂に入ってほしいタイミングでスムーズに入ってもらえないと、ストレスが溜まりますよね。ただ、入浴するよう強く勧めたり、「入浴しないと汚いよ」などと声をかけると、さらに拒否されたり、悪循環になる可能性もあるので注意しましょう。いったん深呼吸をしてから「お風呂に入りたくない理由」を聞いてみましょう。もしかしたら、服を脱ぐのが億劫、体力が落ちてきて入浴が辛い、もともと毎日入浴する習慣がないなど、理由が分かれば改善方法も見つかります。また、冬場は寒さを嫌って敬遠する方もいらっしゃるの、脱衣所や浴室を暖めておくのも効果的です。他にも訪問介護や訪問入浴を活用して負担を軽減したり、自宅での入浴が難しい場合は、デイサービスを利用することもできます。お父様とご質問者にあった方法を見つけてください。</p> |
| 5 | 介護にかかる費用を親が出す理由は何でしょうか。 | <p>親御さんの収入や家族関係にもよりますが、介護は親御さん自身のことなので、原則親御さんの資産から出しましょう。介護費用の話きっかけに資産の把握ができれば、不足分を援助することもできますし、親御さんの介護に対する希望などを確認する機会になるかもしれません。</p> |
| 6 | 遠距離介護とはどのような方法で行うのでしょうか。 | <p>遠距離介護とは、離れて暮らす親御さんをサポートをすることです。定期的に帰省したり、連絡を取りながら、自治体の福祉サービスや介護保険サービスを活用して家事や買い物、通院、入浴や排せつなどの日常生活を手助けします。また、離れて暮らす親御さんの様子を確認したり、もしもに備えるために「見守り機器や緊急通報システム」などを利用される方も多くおられます。</p> |
| 7 | CVポートをつけている場合、仕事をしながらの在宅介護はハードルが高いでしょうか。 | <p>在宅で中心静脈栄養をおこなう方もおられますし、お仕事をしながらサポートされる方もいらっしゃいます。いまはご入院中なのかもしれませんが、在宅でCVポートの管理をおこなう場合は、中心静脈栄養についてよく理解したうえで医師や薬剤師、看護師などから指導を受けて支援体制を整えることが大切です。主治医や担当ケアマネジャーとよく相談していただき、ご質問者のお仕事でもサポートが途切れないよう介護保険や在宅診療、訪問看護などの医療サービスを組み合わせるサポート体制を整備してください。また、体調不良時や自宅での生活が難しくなった際の対応策についても準備しておきましょう。</p> |
| 8 | 渡邊さんが利用して一番良かった、助かったサービスを教えてください。また、なかなか気づきにくいニッチなサービスをご存知でしたらご紹介ください。 | <p>介護保険サービスでは「デイサービス」を上手く利用できていると思います。日中、母がデイサービスに通っている間に父が休息したり、用事を済ませることができるので、母にも優しく接することができます。</p> <p>ニッチなサービスかは分かりませんが、ヤクルトの見守りサービス（愛の訪問活動）はいかがでしょう。まだ元気だけれど不安を感じる方や離れて暮らす親が心配な方向けに「緩やかな見守り」を提供してくれます。ご利用に関しては各自治体にお問い合わせください。また、TVやエアコンなどのリモコンにいった「みまもり電池」（単三電池）が家電の使用を検知し、ご家族に知らせてくれる見守りサービスもあります。親も見守る側も生活を変えることなく見守ることができます。こちらは「MaBee みまもり電池」で検索してみてください。</p> |